



人と自然が輝く町
TATESHINA TOWN
立科町

プレスリリース

平成 30 年（2018 年）8 月 29 日

タデシナソン

- 立科町をやばくする学生アイデアソン、リアルガチの 28 時間。 -
を開催します

立科町の事業者や商店が抱える事業課題について、全国から集まった学生たちがチームを組み【現場を知り、町なかを走り、夜を徹して議論し】、磨き上げたアイデアで解決策を提案し、町の活性化を図る「学生アイデアソン（「アイデア」と「マラソン」を掛け合わせた造語）」を開催します。

第 2 回となる今回は、県内外の学生ら 20 名が参加し、町内木材加工事業者が抱える課題に挑みます。

1 企画の特徴

- (1) 立科町の事業者・商店の本物の困りごとを解決
- (2) 与えられた時間は 28 時間
- (3) アイデアが良ければ、企業が採用&実施

2 開催概要

- (1) 日程 平成 30 年 9 月 7 日（金）～8 日（土）
- (2) 主会場 立科町ふるさと交流館「芦田宿」
- (3) 参加費 無料
- (4) 参加者 20 名（県内他、東京、神奈川、埼玉、千葉から学生が参加）
- (5) 詳細 <http://tateshinathon.com/>

3 取材のおすすめ時間

- (1) 9 月 7 日（金）10 時～11 時 開ソン式
※町長挨拶、チーム発表、課題紹介動画上映等を予定
- (2) 9 月 8 日（土）14 時 30 分～16 時 公開プレゼンテーション～閉ソン式
※各チームのプレゼン、メンター（一般財団法人 AREC 岡田基幸氏）総評、表彰、修了証授与等を予定



前回タデシナソンの様子
(H30.2)



前回タデシナソンの
実現化商品（一部）

関連する資料：添付資料「開催チラシ」

立科町公式ウェブサイト <http://www.town.tateshina.nagano.jp>



立科町マスコットキャラクター
しいなちゃん

立科町 企画課 企画振興係

（課長）竹重 和明 （担当）上前 知洋

電話： 0267-88-8403（直通）FAX：0267-56-2310

E-mail：kikaku@town.tateshina.nagano.jp

タテシナ

長野県
立科町

Great!

タテシナ町
×
アイデアソン
+
学生

就活の話の
ネタはこれで
できた!

Wooh!!

その優れた
アイデアを
企業が町が
採用する!!

学生の
アイデアが
企業・商店
地域を救う!

YES!!

立科町をやばくする
学生アイデアソン、リアルガチの
2日時間。タテシナソン

9/7・8
2018

参加者募集中

<http://tateshinathon.com>

CHECK



事業受託者: (株) アイク 事業委託者: 立科町

後援: (一財) 民間リサーチエクステンションセンター (AREC)・信州大学・(一社) 信州なでしな観光協会・立科町商工会・長野県・長野県信用組合
[公財] 長野県中小企業支援センター・公立大学法人長野大学・八十二銀行・東信州次世代イノベーションセンター/50音順

平成30年度 長野県地域元気づくり支援会採択事業

学生たちが 立科町を 面白くする。

信州にある高原の町、長野県立科町。

この町にも、集客や販路開拓、人材募集や経営に関する、いくつもの悩みを抱えながら奮闘している企業や商店がある。そんな事業者の悩みを、全国から集まった学生たちがチームに分かれ、仲間と協力しながら限られた時間の中で町中を駆け巡り、徹底的に議論して、磨き上げたアイデアで解決策を事業者へプレゼンする学生アイデアソン、それが「タテシナソン」。

バックグラウンドが違う学生が集まることで生まれる創造的な時間は、わずか28時間。最後に待つのはガチのプレゼンバトル。大きな夢を語るだけではなく、リアルに実現可能なアイデアを提案することで、町内の企業や商店が、実現に向けて動き出す。真の地方創生は、地域の魅力を活かす企業が増えることから始まる。この夏、学生たちが立科町を面白くする。

※アイデアソンとは「アイデア」と「マラソン」を掛け合わせた造語。ある問題のテーマについて、異なる分野の人たちが集まりチームに分かれて、課題を一緒に考え、最後にアイデアを競い合う。これまでに数回行った経験を通じてノウハウが蓄積されている。課題の発表は事前収録。

2018.9.7 fri



9.8 sat

10:00 → 17:30



長野県立科町内

メイン会場 | 立科町ふるさと交流館「芦田宿」
長野県北佐久郡立科町大字芦田 2002-1



参加費 **¥0**

必要なのは立科町までの交通費と2日間の食費のみ



宿泊先は立科町内

ご宿泊は事務局で手配いたします
(費用はかかりません。)



参加資格は学生 (高校生・大学生・専門学校生等)

高校生は保護者の同意書が必要です。



持ち物はデジタルデバイス

(PC・タブレット・スマホ等)

着替え等 (朝夕は冷えます)

夢回廊には貴重品をお預けください。



申し込みはwebで

定員(20名)に達し次第、受付終了となります。
応募者には事前審査があります。

<http://tateshinathon.com>



9.7 fri

10:00 ▶ 11:00

開ソン式

何はともあれ、まずは立科名物りんごジュースで乾杯！初めて出会った仲間たちと親睦を深めて、立科町に飛び込んでいく準備をしよう！ドキドキのチーム分けをした後に、今回の“お悩みを抱えている企業”からいよいよ課題が発表されます。そして28時間のカウントダウンが…。

11:00 ▶

ワークタイム

いよいよガチな28時間がスタート！

与えられた課題に対し、どんなアイデアで解決するか。ヒントはどこかに転がっているはず。データを収集するもよし、町民に聞き込みをするもよし。時には休憩や仮眠をしながら、見方を変え、発想を転換し、仲間と熱いディスカッションを重ねて見えてくるアイデアをつかまえる！



9.8 sat

14:30 ▶

公開プレゼン

チームでまとめたアイデアをみんなの前でプレゼンテーション。表現方法に制限はありません。いいアイデアだったら企業代表者が「採用！」します。

プレゼンテーションの後は、タテシナソンに関わったみんなでまちづくりや未来の地方の話をしよう。

公開プレゼンテーションはどなたでも参加できます。ぜひ学生たちの熱いプレゼンを見に来てください。

16:00 ▶

閉ソン式

立科町の美味しい物を食べながら、28時間と一緒に駆け抜けた仲間を称えあおう。参加者は全員、もう立派な「タテシナソン民」だ。



／ 前回採用されたアイデアは実現に向け進んでいます!! ／